

2011年06月24日発行

いつもお世話になっております。
日本セパレートシステムの二代目物流娘。の向井藤子と申します。

今号は物流・サプライチェーン復興フォーラムへの出展と「HandTime」のラインアップ改定の件をお伝えしたくてメールマガジンを発行しました。

物流・サプライチェーン復興フォーラムは「復興へのアプローチ」をメインテーマに、セミナー、展示を通じてソリューションを提案するものです。6月29日（水）に開催します。入場無料ですので是非お越しください。

「HandTime」はタイムレコーダーと勤怠管理システムがセットになった製品でしたが、今後は個別に別々に購入する事ができます。例えば他社のタイムレコーダーを所有しているお客様が「HandTime勤怠管理」のみを購入する事ができます。これによりお客様は極力既存の設備を無駄にすることなく、「HandTime」を導入することができるようになります。

なお、他社のタイムレコーダーや勤怠管理システムとの相性については、事前に以下よりお問い合わせください。

<https://x252.secure.ne.jp/~x252036/mailformpro1/cont01.html>

それでは、今号も宜しく願いいたします！！

絶好調！物流娘。がお届けする日本セパレートシステムの最新情報
「Sepa-LOG（セパ・ログ）」 <http://www.sepa-system.co.jp/blog/>

INDEX

[News & Topics]

- ・ 6月29日開催

物流・サプライチェーン復興フォーラムへ出展

- ・ 6月23日公開

物流業界向け手のひら静脈認証タイムレコーダー & 勤怠管理システム
「HandTime」のラインアップを刷新
～タイムレコーダーと勤怠管理システムを別々に購入可能に～

[Web更新情報]

- ・ 物流娘。ブログ：

『MosP』と『HandTime手のひら静脈認証タイムレコーダー』
体験セミナーレポート公開

『Web1.0、Web2.0、Web3.0』

[コラム：Sepa-Biz]

第九回：クラウドとBCP対策

News & Topics

6月29日開催

物流・サプライチェーン復興フォーラムに出展致します。

開催概要

日時：2011年6月29日（水）10：00～17:20

会場：三田NNホール

入場・展示見学：無料

日本セパレートシステムの出展内容

- ・「物流事業者向けワンストップサービスOneL0」
 - 物流・情報流のサービスを、災害に強いクラウド型サービスで提供します。
- ・物流とITのコラボレーションサービス
 - 情報流の上流から情報を入手し、全体最適化を図ります
 - クラウド基盤（CORDYS）によりバッチ処理データ連携からシステム統合化へ
 - クラウド型サービス（HandTime、ロジ助、えびすスマート、SLP）等の提供
- ・物流センター運用支援サービス
 - 物流人材提供、勤怠管理サービス提供、物流業務運用等

< 詳細 >

<http://www.l-partner.co.jp/lfs/hukko.html>

6月23日公開

物流業界向け手のひら静脈認証タイムレコーダー & 勤怠管理システム

「HandTime」のラインアップを刷新

～タイムレコーダーと勤怠管理システムを別々に購入可能に～

< お知らせ原文 >

<http://www.sepa-system.co.jp/pressrelease/pr20110624.html>

< 解説 >

今回のライセンス改定で、お客様がタイムレコーダーと勤怠管理を別々に購入することができるようになりました。但し、他社製品とのAPIを確認する必要がありますので、事前に以下の窓口までお問い合わせください。（向井）

お問合せ窓口

<https://x252.secure.ne.jp/~x252036/mailformpro1/cont01.html>

Web更新情報

物流娘。ブログ：

『MosP』と『HandTime手のひら静脈認証タイムレコーダー』

体験セミナーレポート公開

<http://bit.ly/iGHOPY>

『Web1.0、Web2.0、Web3.0』

<http://bit.ly/iGHOPY>

コラム：Sepa-Biz

第八回：クラウドとBCP対策

+

+

10年以上も前から話題に上がっていたBCP（事業継続計画）のニーズが本格化してきています。これは神戸大震災の時よりも東日本大震災のほうが被災地が広大であり、事業を継続できなくなった企業がかなり多かったためと推測しています。これにより、遠隔地へのバックアップと遠隔地リカバリを真剣に考えるようになった企業が多くなったと聞いています。

特に物流は日本列島の血管であり、物流が止まれば国が止まります。その際に、一部の被災により、全体の物流が止まる事をさけるべく、クラウドの利用が

進んでいます。

具体的な方法は自社サイトよりも耐震力が高いIDCに基幹システムを設置し、離れた複数の拠点から個別のオペレーションを行えるようにするという方法です。これによって、有事でも少ない停止時間で事業が継続できることとなります。

その時に重要なのが「クラウド・セキュリティ・ガイドライン」です。

日本でもこの4月に経済産業省から「クラウド・セキュリティ・ガイドライン」が公開されましたので、クラウドベンダーを選定する際には是非ご参考いただければ幸いです。

経済産業省
クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン
<http://www.meti.go.jp/press/2011/04/20110401001/20110401001.html>

ここでは個人的にとくに重要に思える内容を列記します。

- A) プライマリーサイトが稼働できなくなった場合の二次サイトの有無
- B) 「RPO」と「RTO」の記載
- C) 和製クラウドであるかどうか

A)は想定外の出来ごとによるIDCのプライマリーサイトがダウンした場合の二次対策の有無を指しています。

B)の「RPO」は「Recovery Point Objectives」の略でバックアップを取るタイミングを指しています。「RPO」が長いと、万が一の際にかなり昔のデータまでさかのぼってのシステム復旧となります。「RTO」は「Recovery Time Objectives」の略で、復旧までの目標時間を指します。ここで大事なのは「RPO」と「RTO」が設定されていて、満足いく内容であるかどうかです。

C)は米国のパトリオット法（愛国者法）のことです。昨年、米国でFBIにより某クラウドベンダーのストレージが差し押さえられ、サービス契約中のお客様が利用できなくなった事件が起こりました。日本以外のクラウドベンダーと契約すると、海外の法律に従わなければならなくなります。これは非常に大きな痛手になると思います。

クラウドベンダー各社の規約はベンダーを守るための規約ですので、中身を重々確認してご契約いただければ幸いです。

(マーケティング・アドバイザー 吉政 忠志)

編集後記

物流・サプライチェーン復興フォーラムでは、私(高橋)も終日ブースの前で皆さまのお越しをお待ちしております。短髪でメガネを掛けているのが特徴です。お見かけの際はお気軽にお話しください！
(高橋 亮人)

読者の皆様へ
本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。
本メールマガジンの登録解除方法
このメールに対する登録解除は そのまま返信 でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法
このメールマガジンに そのまま返信 で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：
(1) メールアドレス：

sepa-log009

(2) 氏名 :
(3) 会社名 :
(4) 部署名 :
(5) 役職名 :

日本セパレートシステム・メルマガ「Sepa-Logi」
発行人：株式会社日本セパレートシステム エンジニアリング事業部
 業務推進室 チーフマネージャー 高橋 亮人

(C)2011 NIPPON SEPARATE SYSTEM CO.,LTD All rights reserved.